いと説明しています。られた、いわゆる「強智

しています。強制連行はなかったのですか。いわゆる「強制連行」を直接裏付ける資料はな」 うに連れていかれて無理やり慰安婦にさせ 政府は、軍隊や警察などに人さらいのよ

疑

問

強制連行

「強制連行された」と報じは朝鮮人慰安婦について、た1991~92年、朝日新聞

慰安婦問題を考える

アジア女性基金の「償い事業」を受けた

●日本国内の裁判所で提訴した元慰安婦の人数と 国・地域(いずれも最高裁で請求棄却が確定)

元慰安婦の人数と実施国・地域

育 樺太10

61人

12人

24人

46人

- 個人向け事業を実施せす

韓国人 🖣 1人

オランダ

インド 🖥

河野洋平官房長官が談話で慰安婦の募集、移送、管理に強制性

村山富市首相が談話で慰安婦問題の解決策について「幅広い国

政府主導で民間のアジア女性基金が発足。国民の寄付をもとに 「償い金」を元慰安婦に支給するなどの「償い事業」を実施

作られた慰安所で、

将兵の性の相手

戦時中、日本軍の関与の下で慰安婦とは何か。

を強いられた女性。

政府は1

14版

16

最大進攻線 (

(「詳説日本史研究

か

211人

朝日新聞の慰安婦報道に寄せられた様々な疑問の声に答 えるために、私たちはこれまでの報道を点検しました。そ の結果を読者の皆様に報告します。 (慰安婦問題取材班) =文中の肩書は当時、記者の年齢は現在。記事は断りのないものは東京本社版

慰安所と慰安婦

1942年に陸軍省で報告された

慰安所が作られた地域の数

☆ 中国華北 (北支)100

華中 (中支)140

■慰安婦問題の主な経緯(肩書は当時)

基金が解散

や台湾出身者も慰安婦にされた。日 ほか、日本の植民地だった朝鮮半島 の日本人の

7月

ン、ビルマ(現ミャンマー)本軍の侵攻に伴い中国、フ

フィリピ

シアなど各地で慰安所が作られ、

Q

韓国で元慰安婦が初めて名乗り出る

宮沢喜一首相が日韓首脳会談で謝罪

民参加の道を探求したい」と表明

を深く傷つけた問題」

どんな人々が慰安婦にされた傷つけた問題」と指摘した。

Q

元慰安婦が日本政府を提訴。政府が調査開始

を認め「お詫(わ)びと反省」を表明(河野談話)

米下院、慰安婦問題で対日謝罪要求決議を採択

政府が河野談話作成過程の検証結果を公表

関与の下に多数の女性の名誉と尊厳

年8月に河野洋平官房長官が発表し

(河野談話)で「当時の軍の

政府が調査結果発表。政府の関与を認める

読者の疑問に答えます

まい」で「(慰安婦は)『挺の社説「歴史から目をそむけ

や軍占領地の炭鉱や鉱山など

婦が集められたかという過程

朝鮮半島でどのように慰安

政府計画に基づき、

日本内地

民地だった朝鮮の人々を戦時

その意思とは関係なく

が続いている。

究者の間で今も対立する状況

むという考え方=注⑤=

」は、一般的に、日本の植もともと「朝鮮人強制連

買により連行」した場合も含

業者が、略取、

誘拐や人身売

に労働者として動員したこと

相の訪韓直前の92年1月12日 て紹介したほか、宮沢喜一首 説明)を強制連行の事例とし

「慰安婦狩り」証言

(次項で

吉田清治氏の済州島での

集された」と記した=注①

いて「強制連行に近い

形で徴

「軍または総督府が選定した

たり、

だまして連れて行った

身隊』の名で勧誘または強制

連行され」たと表現した。

掘が進んでおらず、

専門家ら

研究者が強制連行と呼び=

に実態を調べた在日朝鮮人を指していた=注②。 60年

年以降、その証言を通して次

元慰安婦が名乗り出た91

第に明らかになっていく。

「韓国挺身隊問

生活は強制的な状況で痛ま

97年の特集では「本人の意

上げましたが、

国会下関支部で動員部長をし にした。初掲載は82年9月2確認できただけで16回、記事 ていたと語っていた。 朝日新聞は吉田氏について

する組織である山口県労務報どでは日雇い労働者らを統制男性は吉田清治氏。著書な 男性は吉田清治氏。

疑問 日本の植民地だった朝鮮で戦争中、

朝日新聞は80年代から90年代初めに記事で男性を取り 連れ出したと著書や集会で証言した男性がいました。 婦にするため女性を暴力を使って無理やり 証言は虚偽という指摘があります。

と報じた。 「済州島で200人の若い朝大阪市内での講演内容として 鮮人女性を『狩り出した』 日の大阪本社版朝刊社会面

朝刊で、秦郁彦氏による済州

スクの指示で吉田氏に会い 経新聞の記事の掲載直後、 い」と報じ始めた。

連行」証言

載。週刊誌も「『創作』の疑疑問を投げかける記事を掲しての調査結果を元に証言に 東京社会部の記者(53)は産

記事で取り上げていた。 集会などで証言する吉田氏を 92年4月30日、産経新聞は 9年代初め、他の新聞社も

は確認できない」と表記

と「体験をそのまま書いた」と答えた。済州島でも取材しと答えた。済州島でも取材しと答えた。済州島でも取材したが、高田氏の証言が虚偽だという 拒否。 京社会部記者(57)との面会を 報道があることを電話で問う 虚偽ではないかという

ための取材の際、吉田氏は東の97年3月31日の特集記事のまれたという。

しかし、

言。一部の新聞や雑誌が朝日問題が大きくなった」と発問題が大きくなった」と発明がつくった本がまるで事実 で「朝日新聞の誤報による吉記者クラブ主催の党首討論会 田清治という詐欺師のような 総裁が2012年11月の日本 自民党の安倍晋三 ナ証 話を聞 分の

六」(大月書店、1997年) 吉見義明・川田文子編「『従軍慰安 (婦』をめぐる30のウソと真

新聞批判を繰り返 o。 父から女性従業員が連rは「作っていたのは缶詰いた地元男性 (故人) の で一つしかなく、 女性を連れ去ったとされ し魚の製造工場から数十 魚を扱う工場 経営に

を発動した『慰安婦狩り』 経緯もあり、強制連行は使う図=、メディアにも見たこれ に限定する見解=注④=と、 人によって定義に幅がある。 し『ひとさらい』的連行 メディアにも広がった 、「官憲の職権 寺てる」(鄭鎮星・挺身隊研4人のうち「信憑性に旨作り や軍属らによる暴力」があっや軍属らによる暴力」があって会会長)19人の聞き取りを は民間業者が甘い言葉で誘っ たと語ったのは4 『信憑性に自信が一記を開始を記述し、一記を記述し、一記を開始を記述し、一記を開始を記述し、これを記述し、これを記述し、これを記述し、これを記述し、これを記述し、これを記述し、これを記述し、これを記述し、 会
で
、 多く 注注注 432

連行の定義も、

こうした中、

苦しんだ経験を語っていた。え性病や不妊などの後遺症に りする誘拐との内容だった。 強いられ、暴力や爆撃におび めに自由を奪われて性行為を かかわらず、戦場で軍隊のた 慰安婦たちは、徴集の形に 93年8月に発表された宮沢

査では、朝鮮半島では軍の意館などで日本政府が行った調に、関係省庁や米国立公文書 よる等、総じて本人たちの意送、管理等も、甘言、強圧にいものだった」「募集、移 行われるといった「狭い意味思で組織的に有形力の行使が 思に反して行われた」と認め は確認されな 制 で自 談 (未来社、1955) 新書、2012年) 性を問題とした。 由意思を奪われた「強 第三弾

は、ソウルの太平洋戦争犠牲 お遺族会事務所で、日本政府 が元慰安婦たちに聞き取りを が元慰安婦たちに聞き取りを した。今年6月に発表された いつな報 気持ちを深く理解する」 て「元慰安婦に寄り添 話発表に先立つ7月に 裏付け調査などを行わ 聞き取りの目的に

会編「日本陸軍の本 総解

(大月書店、2013年) -チ・アクションセンター編考えるか――その意義と問題 ドイツの従軍慰

慎重な表現ぶりになった」 と読者の誤解を招くと考え、 たということだった。しか広い意味での強制連行を認め それまでの取材から読み取れと振り返る。「談話や会見、 たのは、本人の意思に反する 93年以降、朝日新聞は強制 強制連行という語を使う

毎日、産経の各紙は、河野※出しで記事を報じた。読売、 『総じて意に反した』」の見 「慰安婦『強制』認め謝罪 河野談話の発表を受け、 新聞は翌日の朝刊1面で

でいた政治部記者(51)は、専 官房長官への取材を担当し いることなどから「強制連門家の間でも解釈が分かれて う言葉を使ったのだと思う、 報じたが、朝日新聞は「強制 話は「強制連行」を認めたと 行」とせず単に「強制」とい は見つかっていない。貧困や強制連行を直接示す公的文書 ても、

どの資料に記されている。 どの方法で多くの女性を集め 家父長制を背景に売春業者が ダ人も慰安婦にされた。 ンドネシアでは現地のオラン 供述が、連合軍の戦犯裁判な が現地の女性を無理やり連行 領下にあった地域では、兵士 ネシアや中国など日本軍の占 られたという。一方、インド 横行し、軍が直接介入しなく し、慰安婦にしたことを示す 就労詐欺や人身売買な

車行という言葉をなるべく使 婦の記述が登場するのを機 97年春に中学教科書に慰安

大日本帝国の「臣民」とされ 朝刊でこの問題を特集した。 日本の植民地下で、人々が 朝日新聞は同年3月31日

国の責任が全くなかった

える」と結論づけた。 思に反して慰安所にとどまる ことを物理的に強いられたり した場合は強制があったとい

家や識者が繰り返してきた。かのような主張を一部の政治

「強制連行はなかった」としかっていないことを根拠に、かっていないことを根拠に、家好婦を直接連行したことを 歴代の政権は談話を引き継い 河野談話が発表されて以 現在の安倍内閣も含めて 一方、日本軍などが

しなかった慰安所で女性が自は、軍の関与がなければ成立要がある。だが、問題の本質 れたことにある。由を奪われ、尊厳 ては、今後も研究を続ける必 のように集められたかにつ これまで慰安婦問題を報じ 朝鮮など各地で慰安婦がど 尊厳が傷つけら

は てきた朝日新聞の問題意識 今も変わっていなど

読者のみなさまへ

確認されています。共通するのは、女性たちが本人の軍が現地の女性を無理やり連行したことを示す資料がインドネシアなど日本軍の占領下にあった地域では、 のように連行した資料は見つかっていません。一方、女性を集めることができ、軍などが組織的に人さらい 意に反して慰安婦にされる強制性があったことです。 けた業者が「良い仕事がある」などとだまして多くの 日本の植民地だった朝鮮や台湾では、軍の意向を受

つ吉田氏の記述を裏付け 聞いたが、強制連行した 後半~90代の計約40人に

とかわらぶきだった。

吉田氏は93年5月、吉見義

考えづらい」と話す。

たとする43年5月当時、

えられない」と話した。

読者のみなさまへ

吉田氏はまた、強制連行し

員が直接朝鮮に出向くことも

言は得られなかった。 に行き、その命令書の中身をに西部軍の動員命令で済州島吉田氏は著書で、43年5月 言は出なかった」と語った。 う韓国挺身隊研究所元研究員 れぞれ数人の老人から話を聞 いたが、記述にあるような証

根は、韓国の当時の水産事業やぶき」と記された工場の屋やぶき」と記された工場の屋のである。「からいった。」が した当時の様子を記録した映史教授(歴史地理学)が入手 像資料によると、トタンぶき を研究する立命館大の河原典 長男(4)に取材したところ、た。しかし、今回、吉田氏の記に残っていると書いている日にいるの日 年7月に死去したという。 ことがわかった。 吉田氏は00 妻は日記をつけていなかった

が動員命令を出すことも、職とし、「指揮系統からして軍とし、「指揮系統からして軍とし、「指揮系統からして軍は、吉田氏が所属していたと

州島に室軍の資料から、済中)は旧陸軍の資料から、済和・京都大教授(日本近現代

州島に陸軍の大部隊が集結す

摘。「記述内容は事実とは考るのは45年4月以降だと指

いた。この点について、永井政を敷いていた」と説明して、良は「陸軍部隊本部」が「軍

をもとに済州島を調べたとい 93年6月に、吉田氏の著書 姜貞淑さんは「数カ所でそ 際、「(強制連行した)日時明・中央大教授らと面会した かった」と指摘している=注 は使えないと確認するしかな と説明した上、動員命令書を や場所を変えた場合もある」 写した日記の提示も拒んだと い、吉見氏は「証言として

の証言を見抜けませんでした。済州島を再取材しまし

者への取材でも証言の核心部分についての矛盾がいく

たが、証言を裏付ける話は得られませんでした。

は虚偽だと判断し、記事を取り消します。

吉田氏が済州島で慰安婦を強制連行したとする証言

詳しい外村大・東京大准教授戦時中の朝鮮半島の動員に

し、最近は5万人以上と改めた。韓史)は95年に5万~20万人と推計見義明・中央大教授(日本近現代見義明・中央大教授(日本近現代素郁彦氏は93年に6万~9万人と推秦が彦氏は93年に6万~9万人と推 民地の朝鮮や台湾で集めた。

問題とは

の植民地だったインドネシアでは現 作られたのか る人もいる。 Q Q

女子も対象となった。朝鮮からは17地や占領地では売春婦でない未成年地を適用除外とした。このため植民時は25年に条約を批准した際、植民 とされたとの記録がある。 歳、台湾からは14歳の少女が慰安婦 止条約」のためとみられる。ただ政 歳未満の女性や児童の人身売買や売 春を禁じた「婦人及び児童の売買禁 者」を対象とするよう通達した。21 場合は「売春婦である21歳以上の 日本女性が慰安婦として中国へ渡る 何人くらいいたのか。

総数を示す公式記録はなく、

人も慰安婦とされた。政府は38年、地女性のほか、現地在住のオランダ

た業者がまず日本国内で、さらに植 A 多くの場合、軍の意向を受け

の慰安のためなどの理由が加わっる戦力低下や機密漏洩の防止、軍人 満州事変の翌年、

どのようにして集められたの

国や中国ではさらに多い数字をあげ 慰安所はいつ、どんな経緯で

る戦力低下や機密漏洩の防止、軍人記録がある。その後、性病蔓延によい軍属専用の慰安婦団を招いたとの まりを防ぐためとして九州から軍人 る事件が起きたため、反日感情の高

りされたりした場合も多いことがわがある」とだまされたり、親に身売 的に連行したとの記録もある。フィ など占領地では、日本軍が直接暴力 かっている。 一方、フィリピンやインドネシア

たという。 Q

査結果を発表し「戦地では常時軍の政府は93年、河野談話とあわせて調らつきもあったことが推定される。

A アジア女性基金のサイトでは 「(慰安所で) 兵士は代金を直接間 「(慰安所で) 兵士は代金を直接間 が、接に払っていたのはたしかですが、 をがないたかははっきりしません」 性を暴力的に拉致・連行して日本軍よると、同国で日本軍は、現地の女 し、集団で強姦を続けた事例もあっ の兵営とされた教会や病院に監禁 リピン政府の2002年の報告書に 慰安婦の暮らしは?

新潮で「慰安婦にさせられた」とい たいきさつは。 いう扱いだった。

を動く充質訪日をきっかけに、植民 財安婦問題の記事を連載。5月の盧 身隊『怨念の足跡』取材記」の題で 身隊『怨念の足跡』取材記」の題で 大教授が韓国ハンギョレ新聞に「挺 大教授が韓国ハンギョレ新聞に「挺 属とされた韓国人らから日本に謝罪 地時代の朝鮮半島で日本の軍人・ と補償を求める声が高まった。

日韓間の問題として認識され

介。73年にルポ「従軍慰安婦」を刊う女性や旧軍関係者の聞き取りを紹 当時はまだ戦時下の秘史と

体験談や手記で触れられていた。 ようになった経緯は。 戦後まもない時期から兵士の 慰安婦問題が国内で知られる 作家の故千田夏光氏が週刊年記で触れられていた。70

自由もない生活を強いられた」と説管理下で軍とともに行動させられ、

明している。

「仕事